ルディア

京王百貨店に常設ショップをオープン

ルディアは、サイエンスコスメブランド「ILG－b シリーズ」で初となる常設店を、12月15日に京王百貨店新宿店にオープンした。

「ILG－b シリーズ」は、甘草にわずかに含まれる美容成分「ILG」を配合したエイジングケアブランドで、2012年からオンラインショップを中心に展開してきた。科学的なアプローチによって肌トラブルを抑え、エイジングケアを促すスキンケアシリーズとして2014年から百貨店において催事販売を開始し、その機能実感の高さからクチコミで人気が広がっていったという。

京王百貨店の店舗イメージ

今回、京王百貨店新宿店への出店が決まった理由として、過去4度のポップアップ出店で記録的な売上を達成し、京王百貨店側から販売力と商品力の高さが評価されたことが挙げられる。

2017年にはその他の百貨店への出店も予定しており、さらに出店を拡大する方針だ。

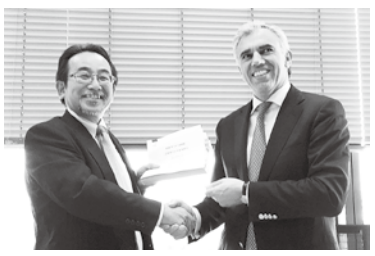
ニッコールグループ

米Amyris社と合弁会社設立

日光ケミカルズ（本社＝東京）などで構成するニッコールグループはこのほど、バイオ企業の米Amyris社（本社＝カリフォルニア州）と合弁会社を設立することで最終合意に達したと発表した。

スクワランなどの製造・販売を展開する新会社は拠点をデラウエア州に置き、工場所在地はノースカロライナ州となる。両社の出資比率はそれぞれ50％で総額は公表していない。

ニッコールグループは有力な海外パートナーとの新会社設立をテコに、約60年間に達するスクワランの供給ノウハウを活かしてグローバル市場における事業拡大を目指す。



さらに、同グループは合弁会社をシンガポールに続く海外製造拠点としても視野に入れており、長年培ってきたコロイド化学・皮膚科学の技術と、Amyris社のバイオ技術を応用し、「持続可能で革新的な製品を開発していく」（日光ケミカルズ）という。

◆資生堂グループ、人事異動（1月1日付）

資生堂ニュージーランド取締役社長（資生堂経営戦略部 グローバルビジネスオペレーショングループマネージャー）中道浩司

◆小林製薬、東京オフィス移転（2016年12月19日）

新住所＝〒135－0034 東京都江東区永代2丁目31番1号 いちご永代ビル7階▽電話・FAX番号は変更なし

◆グラセル、東京支店移転（2016年12月26日）

新住所＝〒150－0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目23番23号 恵比寿スクエア4階▽電話・FAX番号は変更なし

私のH＆B日記

僕らのヒーロー

4歳と2歳の息子たちが愛してやまないのが「動物戦隊ジュウオウジャー」だ。

アンパンマンが大好きだった長男が、今では「ジュウオウライオン」（黄色）にぞっこんで、次男は主人公の「ジュウオウイーグル」（赤色）に夢中だ。

休日に野外公園や商業施設でジュウオウジャーショーが開催されれば、都内はもちろん、千葉や神奈川までせっせと車を走らせる。ショーが終わった後、2人とも照れながら嬉しそうにヒーローたちと握手する姿が何とも可愛らしい。

誕生日やクリスマスで欲しいプレゼントを聞けば、2人とも口を揃えて「ジュウオウジャーのおもちゃ」で、最近では毎朝のようにジュウオウジャーのお面をかぶり、おもちゃの銃剣でジュウオウジャーごっこをしている。

今では「パパ」と呼ばれるよりも、ジュウオウジャーの敵役「デスガリアン」と呼ばれるほうが多くなった気もするが、いつの時代も悪に立ち向かう正義のヒーローの姿は、ちびっこの心を鷲掴みにするものなのだと改めて実感している。

筆者も幼い頃、戦隊モノではないが1980年代に放映されていたNHK人形劇「三国志」に登場する劉備玄徳・関羽雲長・張飛翼徳の三兄弟が大好きだった。

豪傑たちが馬に跨り、槍を持って敵将を次々と打ち負かしていく姿が実に格好良かった。

息子たちがジュウオウジャーになりきり、おもちゃの銃剣を振り回す姿を見て、座布団を馬にして刀のレプリカを振り回していたあの頃の自分をふと思い出し、最近久しぶりに人形劇「三国志」を見返している。

子どもの頃に見たシーンが記憶とともに蘇り、懐かしさと嬉しさのあまり、ついつい毎晩夜更かしで見入ってしまっている。

劇中で使用されている人形の多くが現在、長野県飯田市にある「川本喜八郎人形美術館」で展示されていることを知り、年内までには是非1度私のヒーローたちに会いに行ってみたいと思う。（之）

『女心』攻略データベース

第75回 女性に頼る時代

●執筆者プロフィール●

中村浩子
㈱ヴィーナスプロジェクト代表取締役社長

聖心女子大学在学中より、光文社「JJ」にてファッション・ライフスタイルを担当。
その後「VERY」「STORY」の編集、企画を経て独立。
株式会社セブン＆アイ出版スーパーバイザーを経て、現在は一万人の読者モデル発掘の経験と女性消費者を取材し続けながら、ファッション、ビューティに関するブランドプロデュース、コンサルティングなどを行う。

●解説者プロフィール●

中野靖識　㈱船井総合研究所　上席コンサルタント

小売業を中心としたマーケティング戦略立案および実行支援を主業務としている。
特に、現場の戦術、戦闘レベルの業務である商品構成・売場作り、プロモーション、それらを最大限に活かすための社員教育までカバーしている。戦略立案から現場へ落とし込むまでの一貫した業務経験を豊富に有する。

問い合わせ先
株式会社ヴィーナスプロジェクト　小林
TEL 03-3408-7765
Mail venus-project@fine.ocn.ne.jp

テニスの全豪オープンを観ていて、日本で注目を集めているのは男子の錦織圭選手でしたが、私が目を離せなかったのは、女子の大坂なおみ選手。

驚くべきは、錦織選手より速い200㎞越えのサーブが打てる女子選手であること。力強いフォアハンドのパワーテニスで、2016年には世界ランキング144位から一気に48位に上昇し、東京オリンピックに向けて、パワーの次に必要なものとして、ショットの確実性と安定性をあげ、繊細なショットが打てる「強い選手になりたい」と語っていました。

男子並み、いや、それ以上のパワーありきで、次の課題を明確にしている若干19歳。頼れる女性アスリート、新しい時代の女性アスリートの姿がここにもありと感じました。

今まで、スポーツの世界では、まず男子スポーツがあって、女子においては体力的に男子に劣っていることが前提で、「女性アスリート」と捉えられてきた感がありましたが、レスリングの吉田沙保里選手、伊調馨選手はじめ、まず男子ありきの種目でも、男女差を感じなくなってきた選手が目立つようになりました。守ってくれそうな女性アスリートです。

男性よりも体力的に勝る選手の事例は、そう沢山あるわけではありませんが、サッカー、バドミントン、卓球、他、女性アスリートの全体の質的レベルが上がってきたという事実と共に、女性が憧れる「強さを持った女性アスリート」が登場してきているということに注目しています。

実は、これはアスリートだけの現象ではなく、一般の女性達の周囲でも感じられることです。

男勝りの女性が増えてきた反面、弱さを感じる男性が増えてきたこともそのひとつ。

頼れる存在は、男性でなくてもよいのでは？ 小池百合子東京都知事の活動や発言を見ていて、そう感じる女性は多いのではないでしょうか……その先には、子供さえいれば結婚は必要ないと宣言する女性すら現れています。

さらに、周囲のパワハラオヤジにセクハラオヤジ、TVからは自分たちの利権のために固執する権力オヤジの姿……これでは女性が強さを持った女性に惹かれ、男性に失望するのも当たり前です。男性優位の古い価値観を持った男性達が減っていないどころか、ここ最近、増えているように見えるのも事実です。

20代、30代のオピニオンリーダー調査の現場でヒアリングすると、結婚に対する夢物語には蓋をして、仕事、ライフワークのために、「好きなこと」を追求する女性達が増えています。これでは、ますます晩婚化、さらには少子化に拍車がかかりそうです。

頼れる女性に負けない男性求むという女心の本音が聞こえてきます。

執筆者・中村浩子

【拡大する心の強さの重要性】

スポーツの出口に多くのプロ業界がある男性の場合、職業として極めていくことに周囲の理解が得やすい環境にありますが、女子には職業としてのプロスポーツは少なく、アマチュアで完結するケースが多いため、本気で極めようとしなければ続けられないと言われています。

男女同権と言われて久しいですが、男性優位の社会的価値観が残っている中で成長した女性には、日常的にかかるストレスやプレッシャーが多くあったことでしょう。

それを克服するために精神的な強さを身につけるのは当然のことです。

逆に男性は旧価値観で持たされていた社会的責任から解放されつつありますので、精神的には脆弱になるリスクが高まりつつあります。

人口、世帯数減少が現実になりつつある現在、次の時代を切り開くためには、自らの成功体験や価値観を否定できる強い心が必要になるでしょう。

常に心を鍛える努力を忘れないようにしたいものです。

執筆者・中野靖識